

資料番号	0616-01-001-01	0616-01-001-01	0616-01-001-12	0616-01-001-12
調査年月	2003/5/26	2003/5/26	2003/5/26	2003/5/26
調査者	切畠 健	切畠 健	切畠 健	切畠 健
名称	男子用衿飾地絹織物 標本	男子用衿飾地絹織物標 本	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本
糸	素材 紬	絹	絹	絹
	タテ ヲ撚り強く	ヲ撚り強く	無撚	黒、無撚
	ヌキ 無撚	無撚	無撚	白、金茶、紺、紫、無撚
色	地色	経糸は各色撚状に並べてある。(金茶・紺・茶のボカシ・金茶) 緯糸—ヤスラル紺・地茶・鉄		
	木葉型 式		黒	
	タテ 各色撚状に並べてある。(金茶・紺・茶のボカシ・金茶)			
加工技 法	ヌキ ヤスラに紺・白茶・鉄		白・金茶・紺・紫	
	織技 法	濡子地 ヌキで文様—鉄色は絵緯か	濡子地 ヌキで模様 鉄色は絵緯か。	濡子地にヌキをヤスラ(金茶・紫)風に織り入れ、一色は絵緯(青・白)浮きヌキの処理
	染技 法			無撚。濡子地にヌキをヤスラ風(金葉、ムラサキ)に織り入れ、一色は、絵(青、白)緯ら、キヌキの処理
その他				
	文様	縞地に破れ格子や斜格子が入る	6. 5mmの段替り。各段左右に流れて檜垣風の段文様とする。濃地に三角形が浮き立っている。	6. 5mmの段替り。各段左右に流れて檜垣風の段文様とする。濃地に三角形が浮き立っている。
	形状	タテ長の四角形裂	タテ長の四角形裂地	正方形に近い。 正方形に近い。7. 3x8. 3cm(力ミ共)
用途	ネクタイ地	ネクタイ	ネクタイ	ネクタイ
特記事項	本来は織模様、現状は段に貼られている	底辺14.1×高さ4cmの台形。本来は織模様、現状は段に貼られている	山キザミの段替わりで、左右に流れる平行四辺形の中に三角形を絵ヌキであらわし、三角形の間に地濡子を覗かせるなど手が込んでいる	山キザミの段替わりで、左右に流れる平行四辺形の中に三角形を絵ヌキであらわし、三角形の間に地濡子を覗かせるなど手が込んでいる
調査所見	光沢あり、特にタテに光沢あり	光沢あり、特にタテに光沢あり	裏を見たいものである	裏を見たいものである
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦	141	73。(力ミ共)	
	横	40	83。(力ミ共)	
	織耳			
備考				

資料番号	0616-01-014-8	0616-01-014-8	0616-01-024-06	0616-01-024-06
調査年月	2003/5/26	2003/5/26	2003/5/26	2003/5/26
調査者	切畠 健	切畠 健	切畠 健	切畠 健
名称	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本
糸	素材 絹	絹	絹	絹
	タテ z撚りがかかっているか。	白、ただし葉の所は下のダイダイがうつって色がついて見える。乙撚りがかかっているのか 黒	S撚り	クロとライトグレイのヤスラダテ S撚り
	ヌキ 無撚り、ウラヌキ風	白とクロのヤスラダテ。ダイダイ、ミドリはヤスラに織り込む。無撚り、ウキヌキ風	無撚り	クロとエンジ 無撚り
色	地色			
	木原業			
	タテ 白(ただし葉のところは下のダイダイがうつって色が見える。黒。白と黒のヤスラダテ)		クロとライトグレイのヤスラダテ	
	ヌキ ダイダイ、ミドリ:ヤスラに織り込む。		クロとエンジ	
加工技法	織技法 縞子を中心にヌキにはウラヌキ文を効果的に織り入れる。	濡子を中心にヌキにはウキヌキ文に効果的に織り入れる。	濡子組織を中心として、精巧風やヌキジュスなどで変化、面白く表現している。	5枚縞子組織を中心として精巧風やヌキジュスなどで変化を面白く表現している。
	染技法			
	その他			
文様	葉並べ 葉の下は細い段(白と黒)精巧風に段とスル	葉並べ 葉の下は細い段(白とクロ)精巧風に段とスル	縞に小円文様。縞に石畳入る。石畳に小円。変わり格子。	小円文様 石畳入ル
形状	長方形裂	長方形裂5.4×9.1cm	長方形	長方形裂 6.0x9.0cm
用途	ネクタイ	ネクタイ	ネクタイ	ネクタイ地
特記事項	精巧風の地に縞子の効果を生かしている。ダイダイヌキの光沢がよい。	精巧風の地に濡子の効果を生かしている。ダイダイヌキの光沢がよい。	図のような組織変化させている。濡子、セイゴウ	
調査所見	白・黒の細段地にダイダイの葉が美しく映えている。ミドリの芯をクロの葉柄が文様をシッカリ見せている。多くのネクタイ地の中で目をひく一裂である。	白、クロの細段地にダイダイの葉が美しく映えている。緑の芯とクロの葉柄が文様をシッカリ見せている。多くのネクタイ地の中で、目をひく一裂である	なんでもない織物と見えつつ、しかも難しい組織でもなく変化にとんだ裂地とする。色もわずか3色でありつつ極めて効果的である。	なんでもない織物と見えつつしかし難しい。組織でもなく変化にとんだ裂地とする
製作地				
製作年				
織物名				
法量	縦 54		60	
	横 91		90	
	織耳			
備考			色もわずか3色でありつつ、きわめて効果的である	

資料番号	0616-01-029-05	0616-02-001-02	0616-02-003-01	0616-02-005-01
調査年月	2003/5/26	2003/3/11	2003/3/11	2003/3/11
調査者	切畠 健	生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本	男子用衿飾地絹織物標本
糸	素材 絹	シルクジョーゼット・アセテート縫込み		絹
	タテ 平			
	ヌキ 平			
色	地色	ベージュ		紺、茶の縞
	木原業			
	タテ	白茶濃淡で縞を表す	白	
	ヌキ	赤ヌキで段が表されている。ヌキ浮きで模様をも表しているが黒ヌキ糸をもそえて小文様をあらわしたりする	黒	
加工技法	織技法	平地でタテウキ文様	地一強撚糸、経緯共	ジャガードにて織細な模様を織り出している 緯糸の縞柄に十字柄を模様表現、
	染技法		木版、酸性染料あるいは直接染料	
	その他			
文様	幅広い地に波段をかえ、三角形などをあらわす	小切れ；プリント、茶、赤、オレンジ、ベージュ柄	幾何学文様（ジャガードによる）	縞、ボカシ縞、一部ジャガードorドビー柄入り
形状	不整形、底辺17.6cm、高さ6.6cm斜め辺、10.8cm	四角形	四角形	
用途	ネクタイ	服地？		
特記事項	段や縞に小文様があらわされている。（檜垣、クモシボリ風、立涌風、クサビ形）			台形底辺9.3cm、高さ7.0cm上辺3.0cm
調査所見	平凡な色彩の祖織であるが、変化にとんだ表現に魅力がある	大正期～昭和初期の木版異纖維交織による色分け効果を狙ったもの	無撚糸の白黒糸をジャガードにて織細な模様を作り出している	経に紺糸の縞、糸の色の濃淡を交互入れによってボカシ縞を表現
製作地				
製作年				
織名稱				
法量	縦		74	90と91
	横		200	49と50
	織耳			
備考				